



浦和大里小学校だより

10月号 令和8年9月30日発行

学校教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成



【50周年記念マスコット】

未来へ向かって ～がんばりぬく力～

校長 神田 朋恵

開校50周年を記念して、本校のマスコットキャラクターを募集しました。長年親しまれている「さとぼん」のお友達という設定で募集したところ、なんと250点を超える応募がありました。一つ一つの作品には、子どもたちの豊かな発想と学校への愛着があふれていました。翼には“未来へはばたく願い”を込めたり、卵の殻には“限界を突破する思い”を表したりするなど、どの作品も真剣に考えられた力作ばかりでした。応募用紙を見ながら、子どもたちが学校を大切に思ってくれていることを大変うれしく感じました。今月、全校で投票し、決定します。楽しみにしていてください。

さて、ようやく秋の気配が感じられるようになり、これから運動会に向けた取組が本格的に始まります。本校では、「よく考え判断できる子」「思いやりのある子」「がんばりぬく子」を目指す児童像として教育活動を進めています。中でも、運動会を前にぜひ意識したいのが「たくましさ」です。私たちが考える「たくましさ」とは、ただ体が強いということではありません。思うようにいかないことや苦手なことがあっても、あきらめずに挑戦し続けること、つまり「がんばりぬく力」です。

運動会では、一人ひとりが自分の目標をもち、その実現に向かって努力します。練習の中では、うまくできず悩むこともあるでしょう。しかし、友達と励まし合いながら繰り返し挑戦し、最後までやり抜こうとする経験こそが、子どもたちを大きく成長させます。本校の校内研修でも、「試行錯誤しながら粘り強く学習に取り組む児童の育成」を目指しています。運動会での取組もまた、子どもたちの粘り強さや「がんばりぬく力」を育む大切な機会になると考えています。

先日の学校運営協議会では、「ストップいじめ！子どもサミット」に参加した児童と、なかよし委員会の代表児童が活動報告を行いました。その中で、なかよし委員会から「みんなを笑顔にするためのあいさつ運動」について提案があり、「地域の方とも一緒にあいさつ運動に取り組みたい」という願いが語られました。誰もが安心して「笑顔」（児童会が考えた今年度のスローガン）で過ごせる学校にするために、自分たちで考え、提案し、行動しようとする姿は、「よく考え判断できる子」「思いやりのある子」の姿そのものです。そして、自分たちの願いの実現に向けて粘り強く取り組もうとする姿は、「がんばりぬく子」の姿であり、まさに本校が目指す「たくましさ」の表れだと感じています。

子どもたちは今、日々の学習や行事、委員会活動などを通して成長しています。保護者の皆様、地域の皆様には、運動会や様々な教育活動を通して、子どもたちの努力や成長をぜひ見守り、認め、励ましていただければ幸いです。

今年度も折り返し地点となりました。引き続き、よろしくお願いいたします。